

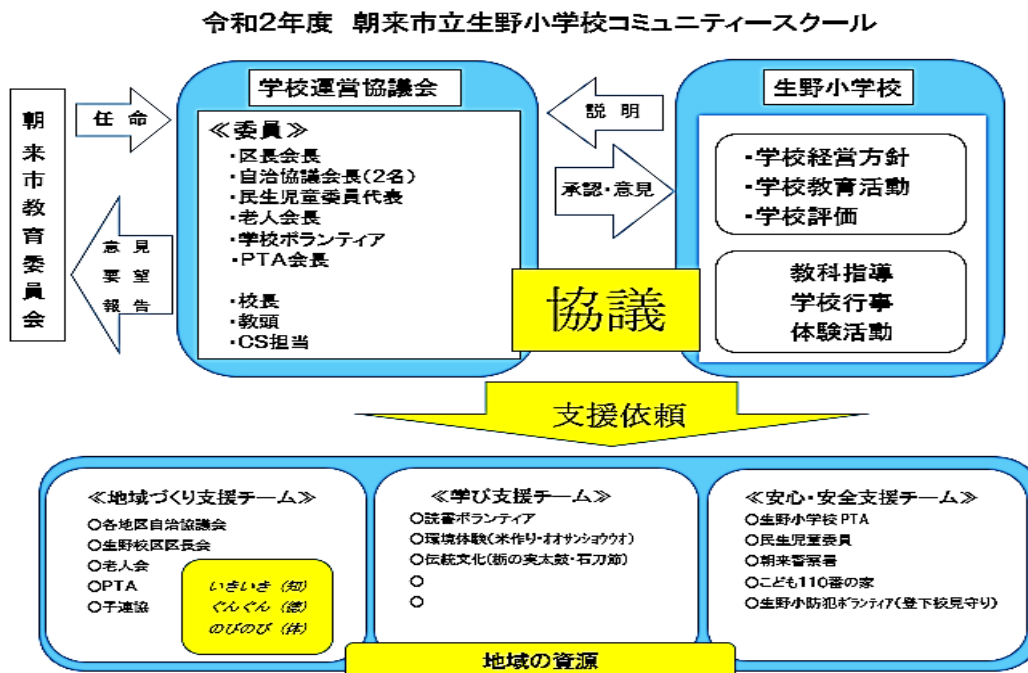
# 朝来市立生野小学校 学校運営協議会のあゆみ

## 令和2年度

### 学校運営協議会委員

	運営委員氏名	役 職
1	小田 正儀	生野区長会長
2	日下部 誠	生野地域自治協議会長
3	吉成 勝	奥銀谷地域自治協議会事務局長
4	山木 葉末	民生児童委員代表 (主任児童委員)
5	岡田 好郎	老人会長
6	岡田 史子	みみうさぎ代表 (学校ボランティア)
7	東垣 邦洋	生野小学校PTA会長

### 推進体制



## 第1回学校運営協議会

- 日時 令和2年6月16日(火) 13:40~15:30 @生野小学校:図書室
- 参加者  
小田正儀さん(生野区長会長) 日下部誠さん(生野地域自治協議会長)  
吉成勝さん(奥銀谷地域自治協議会事務局長) 山木葉末さん(民生児童委員代表)  
岡田好郎さん(老人会長) 岡田史子さん(みみうさぎ代表) 東垣邦洋さん(PTA会長)  
※学校 校長:岸本 教頭:椿本 担当:岩野 ※市教委担当:西田 計11名
- 組織  
会長:小田正儀さん 副会長:吉成勝さん
- 意見交換の内容(要約)
  - 【授業参観】**・各教室とも一定の間隔を置いて、また全員マスクをして授業に臨んでいた。  
・これからの時期は熱中症対策も重要になってくる。
  - 【コロナ対策】**・5月連休明けに子どもの姿が屋外で見られるようになった。よく我慢した。  
・メインホールに“サードプレイス(多目的利用)”を設置している。  
・国際交流館も、平日開放しているので利用してもらったらいい。
  - 【危険箇所】**・崩れそうな家屋(空き家)がある。一度危険箇所の点検が必要。  
・スケートボードの市道での使用は危険である。  
・自転車乗車時にヘルメットを着用していない子を見かけた。
  - 【会の運営】**・第2回からは、事前の打ち合わせを経てから会に臨みたい。そうしないと、結局学校主導の従来の姿になってしまう。

## 第2回学校運営協議会

- 日時 令和2年8月27日(木) 13:30~15:00 @生野小学校:会議室
- 参加者  
小田さん 吉成さん 日下部さん 山木さん 岡田好郎さん 岡田史子さん 東垣さん  
※学校 校長:岸本 教頭:椿本 担当:岩野  
※アドバイザー 朝来警察署新町駐在所 辻井崇詞さん 計11名
- 議題
  - (1)学校評価(校内自己評価)について**
    - ・昨年度2回目よりも、評価が低い項目があるが、今年度はコロナ感染防止のための様々な制限や、臨時休業も重なり、当初の計画通りに進んでいない面もある。

### (2)地域の安全安心について

#### 【主な課題とその対応策】

・現状、校区には「防犯連絡所」「110番の家」があるが、「110番の家」については、設置箇所のデータ更新が必要である。	・「防犯連絡所」に「110番の家」と同じような目印になる物を置かせていただければどうか。 ・「110番の家」の更新が必要であるがどこが動いて整理するか検討する必要がある。 ・メインホールのサードプレイスも安全安心の役割。
---	--

<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校まで車で来たが、誰一人出会わない。子どもの下校時についても人の目が少ないエリアがある。</li> <li>・お年寄りの夜の歩行は心配な面もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生野自治協では、防犯パトロールを週に1回実施している。パネルを車体に付けて回るだけでも効果があるように聞いているので今後も継続する。</li> <li>・「安全タスキ」の活用を促したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・校区の安全マップを作成したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マップの土台になる適当地図を探していきたい。</li> <li>・防犯面や安全面で危険な箇所は把握できているので、地図に落とし込めれば有効活用できる。</li> </ul>
<p>【辻井さんから】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちはまじめに登校し、上級生がうまくリードしていて感心である。</li> <li>・日頃の何気ない声かけが大事。いざという時にその繋がりが役に立つ。</li> <li>・今後も危険な運転などの取り締まりに力を入れていきたい。</li> </ul>	

※出席者の意見を聞いて、学校教育に反映させるこれまでの“学校評議員会”とは違い、地域とともに今後の動きが起こりそうな理想的な会になりました。上記のことが具体化できるように、今後も検討していきたい所存です。地域の方々のお力添え(学校愛)がなければ、具体化することも難しいです。ご協力よろしくお願ひいたします。

### 第3回学校運営協議会

1 日時 令和2年10月23日(金) 13:30~15:00 @生野小学校：会議室

#### 2 参加者

小田さん 吉成さん 日下部さん 山木さん 岡田好郎さん 岡田史子さん 東垣さん  
 ※学校 校長：岸本 教頭：椿本 担当：岩野  
 ※アドバイザー 姫宮神社宮司 山田定信さん 計11名

#### 3 議題

#### 生野におけるふるさと教育について

課題	改善・対応策
<p>【前回の懸案事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飛び出し防止人形の点検・修理</li> <li>・「子ども110番の家」の確認</li> <li>・「校区安全マップ」の作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8/30(日)PTA役員の作業として修理を行う。</li> <li>・各自治協議会の援助により新たに3基購入の見通しが立つ。</li> <li>・朝来防犯協会の協力により、校区内の登録者について確認。</li> <li>・観光用パンフレットを手がかりに校区内のマップ作成者と連絡が取れ、安全マップの下地について作成を依頼している。</li> </ul>
<p>【ふるさと教育】          (神社宮司さんの講話より)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“銀の馬車道”は決して銀を運搬するための道路ではなく、物資等を姫路の飾磨から運んでくるために利用されていた。</li> <li>・生野鉱山はまだ生きており、鉱石は取れないが、鉱物は今でも取れる。</li> <li>・製錬は鉱物を粗銅にすることであり、精錬は粗銅を金や銀にすることであり、西洋では言葉が明確に違う。</li> <li>・石見銀山と生野銀山の違い、世界遺産にしていくための方向性。</li> </ul> <p>※上記のことについて、町並み案内役として京阪神から来る観光客に教えるのだが、果たして生野の住民こそこのことを知っているのかと思う。</p>	

※この日の会で生野の歴史・伝統等について子どもたちが学ばせていただけそうな地域人材を発掘することができました。そして、実際に4年生の学習にはそのうちのお二人に来ていただき、生野銀山の歴史について学びました。

## 第4回学校運営協議会

※令和3年2月3日(水)に予定していましたが、「緊急事態宣言」発令中であることから、書面で学校運営について意見をいただきました。以下はその内容です。

### 1 学校運営について

- ・学校評価も保護者アンケートも、評価は平均点以上でこのまま継続すればいいと思う。
- ・長期のわたる休校後の学校運営は全てのことが手探りで先生方のご苦労は大変なものであったと思う。保護者アンケートで学校に対する評価がほぼ上向きの結果であるのを見ると、苦難の中でも先生方の奮闘がしっかり伝わっていると思う。
- ・このコロナ渦で頑張ってきたことが、10年先、20年先の人と出会いの中で、みんなで協力した思いの一つとして話題になればいいと思う。
- ・教育方針や子どもたちの様子を伝えている項目で保護者の評価が高いのは良いことだと思う。
- ・子どもたちのマスク着用が徹底できていた。我々が注意されるほどであった。
- ・コロナ渦でたいへんであったと思うが、インフルエンザ対策等メリットも見つけられた。
- ・危機管理の所で、今後も職員間の意識向上を図っていただきたい。
- ・コロナ渦での危機管理・対応について学校からの説明を受けたかった。
- ・登下校についての保護者の意見があるが、不審者対応の面からも危害を防げると思う。また、上級生が下級生の面倒を見る気持ちが養われると思う。
- ・子どもたちが家庭生活において家族の一員として何か手伝いをするように自覚させる。
- ・子どもたちのために、今何がベストなのかを懸命に模索している先生方の姿勢こそが最大の教育ではないかと感じている。

### 2 “学校運営協議会”の運営について

- ・このままの形で進めていけばいいと思う。
- ・今のままで良い。
- ・今後も集合しての会議が難しくなる状況は続くので、リモート開催などで対応できればいいと思う。
- ・より具体例に即した会議になれば良いと思う。
- ・僅かな回数で深めるコミュニケーションであるので、第4回が中止になったことは、学校の現状を聞けなかったのが残念だ。
- ・ゲストを迎えて話してもらうのはいいが、短時間にしてもらって、後の話し合いを充実させたい。

### 3 その他、“気になる点”や“次年度に向けての提案”

- ・コロナ渦における学校以外の時間の過ごし方について、アンケート調査などを行い把握することによって生活の様子がつかめる面もあると思う。
- ・コロナ渦で先生も大変だと思う。先生がまず元気で頑張ってほしい。
- ・校報で学校の様子を知らせてもらっているが、生野の歴史的なことに今後も触れていってもらいたい。
- ・現在のPTA会員の方の中で生野育ちが何人くらいいるのかを調査して、そのことをもとに子どもたちへの接し方を考えていくこともいいのではないかと思う。
- ・あいさつは、まず家庭からではないだろうか。
- ・「ノーTVデー」などの設定はどうだろうか。

コロナ渦の中、当初の思いのような学校運営ができませんでしたが、学校運営協議会の委員さんからの建設的な意見に支えられ、“生野小学校学校運営協議会元年”を、無事終えることができました。深く感謝いたします。ありがとうございました。

# 令和3年度

## 学校運営協議会委員

	運営委員氏名	役 職
1	小田 正儀	生野区長会長
2	日下部 誠	いくの地域自治協議会長
3	吉成 勝	奥銀谷地域自治協議会事務局長
4	山木 葉末	民生児童委員代表 (主任児童委員)
5	岡田 好郎	老人会長
6	岡田 史子	みみうさぎ代表 (学校ボランティア)
7	松本 健作	生野小学校PTA会長

### 第1回学校運営協議会

1 日 時 令和3年6月15日(火) 14:00~15:30 @生野小学校:会議室

#### 2 参加者

小田正儀さん 日下部誠さん 吉成勝さん 岡田好郎さん 岡田史子さん 松本健作さん  
※学校 校長:岸本 教頭:田村 担当:藤原 ※市教委:福田 計10名

#### 3 組 織

会長:小田正儀さん 副会長:吉成勝さん

#### 4 意見交換(要約)

##### 【授業参観】

- 区長会でもコロナ対策を最重要課題としており、学校においても同様である。
- バリアフリーは、東京オリンピックでも多々工夫されているので、そのあたりからも学んでほしい。
- タブレットの操作に児童が慣れていたことに感心した。
- 川尻地区の者だが、今春から転入生があり、今日も活発に意見が言えていたので、とても心強く感じている。
- 児童の減少が続いていると思うのだが、少なさを感じさせない活気があった。

##### 【ふるさと教育】

- 生野の歴史に誇りを持ち、豊かな自然環境に興味を持ち、それらを育み大切にする大人になってほしい。

- 生野の歴史、文化、風土、言葉、人とのふれあいを大切に、町のことが好きになって、地域の行事に家族と一緒に参加し思い出づくりをしてほしい。
- 老人会は生野高校と共催で食べ物講習会を実施した。生野には独特の食文化がある。
- 生野高校はコンソーシアム教育、鉱山や景観やハンザキについてとても専門的に調査しているので、小学生も教えてもらってはどうか。
- 生野ダムは治水について。鉱山も大事だがダムについても、この災害の多い国にあって学ぶことが多いのではないか。
- 先生が受け継いでいく面と、地域が受け継いでいく面と両方ある。
- 今度講師で5年生の教室に何うが事前の質問がとても興味深い。児童の視点はユニークだ。
- 学習の内容だけではなく、「地域の人とふれあえた・・・。」と感想を書いた児童に感銘を受けた。



令和3年度学校教育目標と学校運営方針について承認いただきました。  
 校長からは、今年度学校運営協議会として主に以下の2点に取り組むことを説明しました。

- ・「伝統文化の学びの充実事業」を充実させるために、「ふるさと人材発掘」を継続する。
- ・「校区安全マップ」を完成させる。

今回は、多くの人材や学ぶ視点を助言いただき、今後に活かせるよい機械となりました。  
 早速、夏季休業中に職員研修として、地域の方にお話しいただく予定を立てました。

## 第2回学校運営協議会

1 日 時 令和3年10月22日(金) 14:00～15:30 @生野小学校：会議室

### 2 参加者

小田正儀さん 日下部誠さん 吉成勝さん 岡田好郎さん  
 山木葉末さん 岡田史子さん 松本健作さん  
 ※学校 校長：岸本 教頭：田村 担当：藤原

計10名

### 3 意見交換(要約)

#### 【授業参観】

- 全体的に落ち着いた学習態度である。掲示されている絵も上手に描けている。
- 授業のICT化が進んでいる。教育の型が進化してきている。
- グループで対話する場面があったが、自然に行われていた。
- 午前中のマラソン大会で仲間を支える姿を見て感動した。
- 今の学校の学習環境は羨ましい。小4の時に学校が燃えたことを思い出す。
- あいさつは大人のねばり強さが大事である。徐々にその大切さに気づかせる。
- SNSでのいじめによる自殺があった。家庭生活も要注意である。

※本校では、いじめアンケート・生活アンケート・生活点検・情報機器アンケート・個別の面談等を通して、児童の実態把握に努めているところである。今度もより実態に即した児童理解を推進する。

#### 【校区の安全安心】

- 昨年度から進めている校区安全マップづくりについて
  - ・マップの下地はできており、PTA役員からの情報も入力した
  - ・今回、運営委員から情報を提供してもらい、危険箇所を探るのが目的
  - ・地図とシートを渡して、各委員に記入してもらった

- メインホール前の駐車場で子どもが遊んでいる場合があり、道路まで広がってしまうことを危険に感じている。
- 中学校前の交差点等、町中の道が狭く見通しが悪い。飛び出しに注意。
- たまにヘルメットを着用していない児童を見かけるので声をかけている。
- 交通安全だけではなく、熊等の出没や人通りの少ない道等も注意が必要。  
※マップの完成が目的ではなく、児童と地域住民の安全なくらしが目的である。したがって、今回指摘された箇所は校報で早速呼びかけることにする。
- ※次回の運営協議会までに情報を入力し、それを今年度の完成版として、今後の活用について協議願いたい。

### 第3回学校運営協議会

1 日時 令和4年2月9日(水) 14:00~15:30 @生野小学校：会議室

#### 2 参加者

小田正儀さん 日下部誠さん 吉成勝さん 岡田好郎さん  
山木葉末さん 岡田史子さん  
※市教委担当  
※学校 校長：岸本 教頭：田村 担当：藤原

計10名

#### 3 意見交換(要約)

##### 【朝来市立学校の在り方に関する方針】(市教委担当からの説明)

○少子化における学校の統合等についての基本的な考え方

小中学校は児童生徒の教育のための施設であるだけでなく、地域のコミュニティの核としての性格を有し、防災、保育、地域の交流の場等、様々な機能を併せ持っている。これらの機能についても考慮する必要があるため、保護者や地域住民の参画により学校運営の改善に取り組む「学校運営協議会」(コミュニティ・スクール)等において協議の場を設け、新たな学校づくりの計画も含めて地域の意見を最大限反映するように努める。

##### 【令和2年度・3年度の生野小学校学校運営協議会の取組】

○学校運営協議会発足当初のこの2年間は、以下の2点を柱にして取り組んできた。

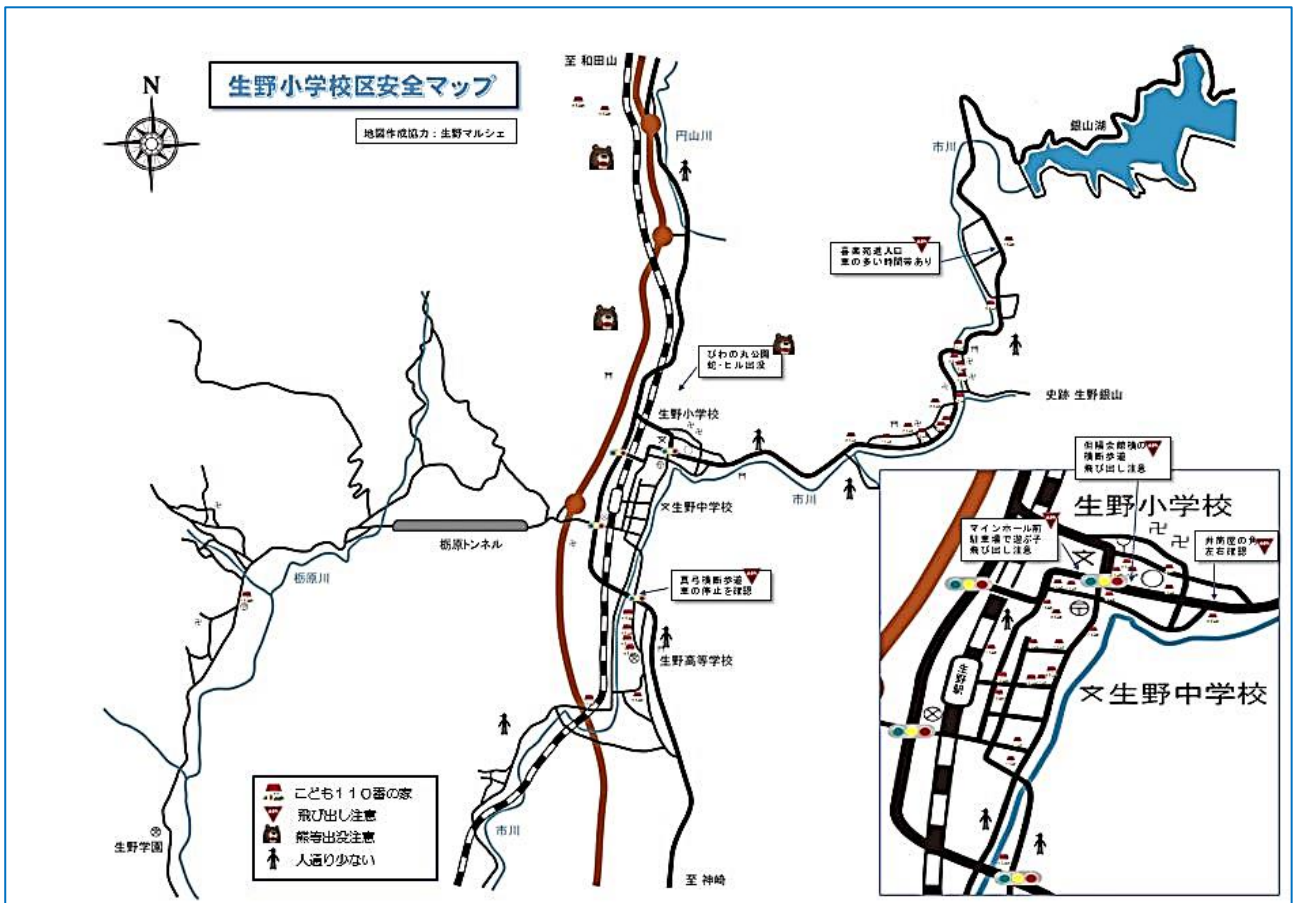
- 1 児童の学びにつながる地域人材の発掘と学校でのふるさと教育の充実
- 2 校区安全マップの完成

○ふるさと教育の充実について

- ・兵庫県教育委員会の事業である「伝統文化の学びの充実事業」に、中学校と連携しながら取り組んできた2年間であった。そして、令和4年2月1日(火)に尼崎市のアルカイクホールで開催された「ひょうご五国ふるさとフォーラム」において、本校4年生児童と図書ボランティアみみうさぎの会による、影絵と石刀節の発表(コロナ渦制限により動画発表)と、小中連携で取り組んだことをパネル展示をもって結実した。
- ・この間、学校運営協議会では地域の人材と学校の学びを結びつける協議を継続してきた。
- ・中でも、今年度の運動会では、小中共に「生野踊り」を演技に取り入れ、地域の方々の指導の下に練習を重ねただけではなく、実現こそしなかったが、中学生が小学生に指導する計画も立てていた。
- ・コロナ渦で教育活動が制限される中、地域との結びつきを深めることは、正直難しい面もあったが、小中連携した9年間の学びの見通しや、今回の尼崎での発表スタイルに代表される、地域の方と共に伝統芸能を受け継いでいくといった視点が根付いていくものと確信する。

○校区安全マップの完成について

- ・学校運営協議会の場等で情報を共有しながら、一応の完成をみたが、情報量としてまだまだ十分ではないと思われる。次年度以降、小学校の地区別懇談会等も活用しながら、情報収集を継続する。



○学校運営協議会の運営について

- ・委員の中から、構成員を検討した方がよいと意見があった。
- ・発足から2年間、校長が協議内容について提案してきたが、今後は、会長をはじめとする構成員の意見から取組内容が具体化するようなあり方が望ましい。

【学校に対する意見】

- ・校内マラソン大会や運動会のような、小中の連携を今後も充実して行ってほしい。
- ・コロナ渦における子どものストレスや不登校が問題視されているのでしっかり対応してほしい。
- ・コロナ渦におけるカリキュラムの進捗状況は？  
 ※今年度は一斉休校もなくほぼ計画通りに進んでいる。  
 ※音楽の歌唱や器楽演奏、家庭科の調理実習等はできる形を工夫しながら指導している。
- ・学校行事が制限されているが、こういう時だからこそという新たな形を見出してほしい。